

IIJ、農業農村のスマート化に向けて、 スマート農業を推進する実証プロジェクトにLoRaWAN®製品群を提供

-- 北海道新十津川町、大阪府能勢町天王地区におけるスマート農業加速化実証プロジェクトを支援 --

株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:勝 栄二郎)は、北海道新十津川町と大阪府能勢町天王地区が取り組む 2 つのスマート農業推進実証プロジェクトを支援し、IIJ がもつ LoRaWAN®基地局をはじめとする農業 IoT 関連製品やサービスを提供いたします。

<背景>

IIJ は、自社のネットワーク、クラウド、セキュリティサービスを活用し、主に産業、農業、ホーム・見守り、エネルギーの分野において様々な IoT ソリューションを展開しています。特に農業分野では、静岡県で実施した 3 年間のスマート農業に関する実証事業(※1)を通して得られたセンサー技術や LoRaWAN®(※2)をはじめとする無線通信技術に関するノウハウを活かして、水田水管理センサーの販売、センシングデータを活用した農業・農村のスマート化に向けた研究開発を進めており、その一環として、スマート農業の実証プロジェクトにも積極的に参加しています。今年度は岐阜県の 2 つのスマート農業推進実証プロジェクトのコンソーシアムに構成メンバーとして参画(※3)し、また、北海道新十津川町、大阪府能勢町天王地区で実証が行われている農林水産省のスマート農業実証プロジェクトにおいても、IIJ が持つ農業 IoT 関連技術、製品、サービスを提供し、両プロジェクトを支援しています。

(※1) 2020年6月10日付報道発表資料「IoTを活用したスマート農業実証事業について(成果報告サマリー)」

<https://www.iij.ad.jp/news/pressrelease/2020/0610.html>

(※2) LoRaWAN®(ローラワン):低消費電力かつ長距離通信を特徴とするIoT/M2Mに最適な無線通信技術で、免許が不要な周波数帯域を利用することで、誰でも手軽に利用することができる。

(※3) 2020年11月2日付報道発表資料「IIJ、岐阜県のスマート農業推進に係る実証プロジェクト2件に参画」

<https://www.iij.ad.jp/news/pressrelease/2020/1102-2.html>

<各プロジェクトの概要>

1. 新十津川町スマート農業実証コンソーシアムによるスマート農業技術の開発・実証プロジェクト

北海道新十津川町は、道内有数の米どころで、主食用米の作付け率が高く、家族経営が主体である点を特徴とする農業地域です。町独自のスマート農業支援施策も含め、プロ農家の優れた技術をデータ化し、若く経験の浅い担い手でも活躍できるデータに基づくスマート農業技術体系の確立を目指しています。同町では、農林水産省「令和元年度スマート農業技術の開発・実証プロジェクト及びスマート農業加速化実証プロジェクト」(事業主体:国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構)の採択を受け、日本一の高品質・良食味米産地を形成するために、白石農園、JA ピンネ、新十津川土地改良区、ピンネ農業公社、北海道空知改良普及センター中空知支所、北海道クボタによる「オール新十津川」の体制で、2019年度より、短期集中する春作業の作業効率化等を目標とした「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」に取り組んでいます。

IIJ は本プロジェクトに対して、LoRaWAN®技術による水田の水管理システム、および水田ごとの最適な水位を助言するアプリケーションを提供し、新十津川町のスマート農業技術の普及・推進活動を支援します。

(IIJ がサポートする製品群)

- LoRaWAN®通信基地局
- 水田センサー
- 気象センサー
- 水位水温データ分析アプリケーション
- 水田ごとの最適な水位を助言するアプリケーション

2. 大阪府能勢町天王地区「天王ナチュラルファーム」のスマート農業加速化実証プロジェクト

大阪府能勢町天王地区は、大阪府の最北端に位置し「大阪のてっぺん」と呼ばれる中山間地域です。高齢化と後継者不足による限界集落化が進む中、「天王ナチュラルファーム」を組織し、農地集積・集約化、農産物の販路拡大、農産加工品の新規開発、農業体験イベントの開催等の取り組みを行っています。天王ナチュラルファームは農林水産省「令和 2 年度スマート農業技術の開発・実証プロジェクト及びスマート農業加速化実証プロジェクト」(事業主体:国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構)に採択され、2020 年度から「スマート農業加速化実証プロジェクト」に取り組んでおり、ドローンを活用した水稻直播など農業の生産性向上や地域の農業環境の保全活動に加えて、関係人口・交流人口を増やすことで、定住化の促進までを目指すべく、農業観光(グリーンツーリズム)にも注力しています。

IIJ は、中山間地域において農作業を安心安全に行うための製品として、水田の水管理システムと共通の通信基地局を提供し、中山間地域での農業と農村生活のスマート化の実現を支援します。

(IIJ がサポートする製品群)

- LoRaWAN®通信基地局およびリピーター(無線通信中継機)
- 獣罾センサー
- 冠水センサー
- 監視カメラ
- メッセージの送受信が可能なコミュニケーションデバイス
- 水田センサー
- 気象センサー

IIJ では今後とも、あらゆるものを「つなぐ」ために必要な要素技術の開発を進め、日本の農業・農村のスマート化を積極的に支援してまいります。

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 増田、荒井

TEL:03-5205-6310 FAX:03-5205-6377

E-mail:press@iij.ad.jp URL: <https://www.iij.ad.jp/>

※本プレスリリースに記載されている社名、サービス名などは、各社の商標あるいは登録商標です。